

眼 科

《概要》

田尻健介医師、大槻紘平医師、鶴原泰子医師の3名で診療を行っている。

4月に田尻医師退職、村井克行医師が入職となった。

診療疾患は白内障、緑内障、糖尿病網膜症などを中心に、眼科一般を診療しており、大阪府立泉州救命救急センターへの診察も行っている。

手術は白内障手術がほとんどである。大多数の症例では小切開創から眼内操作を行ない、インジェクターを用いて眼内レンズを挿入する術式を採用している。手術時間が短縮し、術後乱視が軽減することで術後視力の向上に効果を発揮している。白内障手術患者はクリニカルパスにしたがって、入院期間は片眼手術の場合は4～5日間、両眼手術の場合は8日間ではほぼ全例予定通りの退院となっている。比較的若年で術後の通院に支障がない患者については、全身状態も考慮したうえで日帰り手術も行っている。

また糖尿病網膜症の症例は従来通りに多く、蛍光眼底造影検査や網膜光凝固術を行っている。当院にはOCT機器がなく、詳細な診察が必要な症例や手術が必要な症例は速やかな紹介で対応している。また、NICUでは未熟児網膜症症例に網膜光凝固術治療を行っている。手術が必要な未熟児網膜症の進行例には速やかな手術施設への紹介で対応している。